消費税増税中止 国民大行動３６万人

「くらし・営業・雇用守れ」

４月から消費税が増税されようとしている13日、列島各地で消費税増税中止をはじめ国民の諸要求を掲げ「くらし・営業、雇用守れ　国民大行動」が展開され、36万人以上が参加しました。

４月の消費税増税前の駆け込み消費が取りざたされ、マスコミも煽っていますが、列島各地でこんなに多くの人が消費税増税反対の声を上げ、行動しています。「なんとしても増税を中止させよう」の思いは、国民が感じている「くらしへの不安、商売が立ちゆかなくなる、首にされるのでは」の心配から突き上げてくる行動ではないでしょうか。

「世界中で税金を上げて景気回復した国はない。みなさんと固く団結して消費税増税中止に全力で頑張ります」大阪総行動での大阪商工団体連合の三谷会長の言葉どおり、増税は、国民を苦しめる以外のなにものでもありません。「賃上げで景気回復をはかれ」と草の根から重税反対をアピール。あきらめずに・・・。

子どもの医療費助成 中３まで拡大へ

子どもの医療費助成制度が、流山市は、去年の12月から通院を小６まで引き上げたばかりです。

ウォーキングしています

２月に67歳となりました。東京の出版社で永らく働いていましたが、労働組合の〝運動〟はともかく、体を動かすほうの運動はあまり好きではなく、スポーツ観戦もほとんど見ないタチでした。

６年前近くのことですが２００８年の６月に帰宅中、突然ＴＸエクスプレス秋葉原駅の改札口で倒れ、救急車でそのまま東京医科歯科大病院に運ばれました。もともと運動もせず、また会社の仲間の交流が多く酒が欠かない日々のため高血圧に侵されたと思いますが、ために「脳出血」としてただちに手術を受け、その結果身体の問題はありませんが、失語症として後遺症が残りました。

退院後とりあえず会社には休職扱いになりましたが、仕事を再開するためにも体力を回復させる必要があり、妻にも相談した結果取り組みやすいスポーツとしてウォーキングを選びました。ただ結局２年後に定年を残しての退職になりましたが…。

その後、柏のウォーキングクラブに入り毎日のように歩きました。参加した頃、最初は〝何で15キロも歩かせるのだろう〟とか〝１日１万歩なんてムリ〟と思いましたが、今は２・３日も歩かないと身体がムズムズしてきます。とりあえず体重は一定していますし、またいろいろ話ができる仲間も増えてきました。月に２回の〝健康コース〟（10～13キロ）で脚を鍛え、また月に１度の例会では50人以上のメンバーと一緒に出かけて「等々力渓谷から多摩川へ」とか、「坂東太郎博学ウオーク」など個人では行かない（行けない？）ような「社会見学会的コース」で見聞を深めています。当クラブには〝生きているうちに地球一周り分を徒歩で…〟という先輩も少なくありません。

今後も歩けることができるうちは歩きたいと思います。　東深井・Ｓ

孫との初旅行　また行きたいな

三島に住む次男から、２歳の孫が会いたい（らしい）というので、２月21・22日に、堂ヶ島温泉へ行くことにしました。初日は、いちごが大好きな孫のために、伊豆フルーツパークへ、イチゴ狩りに行きました。新しい施設で温室の中は、一段になっており、立ったまま摘めるので、下の段は、摘み残しのイチゴが、成長して、孫の手の３倍ほどのもありました。ちなみに味は、変わらず、とてもおいしかったです。

日没の際には、拍手がおこり、幸せな気持ちで部屋にもどりました。あくる日は、河津さくらを見に行きました。伊豆旅行の際には、何度か車窓から眺めていたので、わざわざ見に行くものかな？と、あまり気乗りがしなかったのですが、河津に降り立つと、川の両岸に８００本のさくらが、見事に咲いています。まだ２月なのに、川底には、ところどころ菜の花も咲き乱れ春たけなわ。見に来て良かったと思いました。

孫も気分がいいのでしょう。じっとしていられない様子で、あちこち一人で歩き回り、追いかけるじじばばは、息も絶え絶えでした。次男一家との初めての旅行、少々疲れましたが、また出かけたいなと思いました。

こうのす台Ｋ

大きなイチゴを手に　まごちゃん　おもソー

東葛６市に乗り遅れ

ここにきて、また助成拡大に動きが出てきました。

今現在、松戸市も我孫子市も、既に中３まで実施されています。柏市も野田市も新年度から、中３まで実施する予定です。

３月14日の予算委員会で、日本共産党だけでなく、他の会派からも、『流山市は東葛６市の中でも乗り遅れた。中３まで引き上げるべきだ』との質疑が多数出ました。

平成26年度中に判断

その結果、市長から、「子ども子育て会議の中でも意見を聞いて、Ｈ26年度中に中３までの拡大を判断していきたい」との答弁が出てきました。

植田和子

ニュース記事募集中

ニュース読者のみなさま、身近な「困った」「なんで」などお知らせ下さい。「住みよい街づくり」めざし、ウォッチングして、市政に届けます。一人だけで考えて、あきらめないで。ご一緒に問題解決の糸口にしましょう。

「しんぶん赤旗」ってどんなしんぶん？

日刊紙は、タブーなく、政治の問題や一般紙では報道しない各地の草の根の動きなどもお知らせしています。スポーツ面やラジオテレビ面も。

創刊55年を迎えた日曜版は、政治面はもちろん、子どもからお年寄りまで楽しめるタブロイド判の週刊情報誌です。マンガ・小説・つり・囲碁将棋・料理・各界の方のインタビューなどなど、盛りだくさんです。

一度お読みになってみませんか、見本紙をお届けします。お申し込みは本紙発行者まで。日本共産党のホームページでも受け付けています。

しんぶん赤旗には、毎日お届けする日刊紙と日曜日発行の日曜版があります。

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

日刊●月 2,900円
日曜版●月 800円

あすなろ川柳

●再稼働
無慈悲さ驚く
文殊様

事故だらけの危険な高速増殖炉もんじゅまで再稼働？名前の由来の菩薩様もびっくり？

●この年も
草木にだけは
春が来る

毎年今年こそと希望を持っても被災地に来ぬ春

●三年間
通い続けた
仮校舎
あのときの新入生が卒業

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

お詫びと訂正

前号2面「菅谷昭講演会」の記事の中で「流山市の放射能対策室が廃止になった」は「今年の4月から廃止になります」の間違いでした。また、1面の写真説明は「新春のつどいで話す浮揚日本共産党千葉県委員長」でした。お詫びして訂正いたします。編集部